



国連広報センター（東京）

インターンシップ

募集要項

WELCOME TO OUR TEAM!



Updated: November 2019

インターンの活躍例と修了生の声



UNU/Curtis Christophersen

アントニオ・グテーレス国連事務総長(中)と挨拶

「様々な分野のプロフェッショナル
や、異なるバックグラウンドを持つ
志高い同期インターンと出会えた
ことは、一生の財産です」

「長年の夢だった国連への就職が、
現実的な目標となりました」



中満泉 軍縮担当上級代表国連事務次長にインタビュー



平原弘子UNMISS ベンティオオフィス事務所長(左)、
ポール・エガンソラ UNMISS官房長(中)、石川直己ミッション
計画オフィサー(右)とのミーティング



学生に国連の活動について説明



協力して新しいプロジェクトに取り組む



第1回SDGsフォトコンテストの大賞受賞者(右)
ニコラス・モンテベルデ-ブスタマンテさんと



国連諸機関の会合でビデオ撮影を担当

「日本における国連の情報発信源と
して広報に携わり、わかりやすく正確
に『伝える』力が身につきました」

国連広報センター・インターンシップ 募集要項

国連広報センター(UNIC)では随時3-4名のインターンが活躍しています。職員と共に日々の業務に取り組んでいるインターンは、国内外の大学生・大学院生(在学・既卒)、留学生、社会人など、様々なバックグラウンドを持っています。あなたもUNICでインターンとして働いてみませんか。インターンシップを通じて国連を身近に感じることができ、国際的な課題にも視野を広げる絶好の機会です。皆さんからの応募をお待ちしています!

主な業務内容

- ◆ 新聞クリッピング、翻訳、その他のリサーチ
- ◆ SNSでの配信、資料ガイダンスのサポートなど、所長・職員の補佐
- ◆ 電話対応、国連を訪問する中高生へのブリーフィング
- ◆ イベントやキャンペーンなどの企画と実施のサポート

応募資格

- ◆ 大学生・大学院生、社会人
- ◆ 日本語と英語で業務ができること
- ◆ 他の国連公用語の知識がある方、歓迎
- ◆ 意欲と責任感があり、国際問題に高い関心のある方
- ◆ 社会経験のある方、将来、国際機関で働きたい方、歓迎
- ◆ 動画や写真の編集、様々なSNSを活用した情報発信の経験がある方、歓迎
- ◆ システムエンジニアやWebデザイナーの方も歓迎

勤務条件

- ◆ 期間： 4ヶ月以上(6ヶ月まで延長可能)
- ◆ 勤務時間： 9:30~17:30(月~金)
→その他詳細は、応相談。学生の場合は、パートタイムでの勤務を検討(週3日以上)。
- ◆ 給与： 無給(交通費、食費などの支給、一切なし)
- ◆ ビザ： ビザが必要な場合、申請手続きや費用はインターンの負担となります。
- ◆ 交通： 国連広報センターへの旅費・交通費はインターンの負担となります。
- ◆ 保険： インターン中に発生した事故や病気のための費用はインターンの負担となります。
インターンを開始する際には、有効な健康保険証の提示が必要です。
- ◆ 秘密厳守： インターン中に知り得る未公開の情報及び文書を外部に公開することは禁じられています。
- ◆ 単位： 大学によっては、国連広報センターのインターンシップが単位認定される場合があります。
詳しくは、在学する大学へお問い合わせください。

おもな応募理由・きっかけ

- ◆ 将来、国連や国際協力分野で働くことを目指しているため
- ◆ 国際問題に関心があり、報道やジャーナリズム分野を志しているから
- ◆ 文章や写真、グラフィックを用いた広報活動を実際に経験し、将来のキャリアに生かしたいから

採用プロセス

1次選考・・・書類審査

2次選考・・・筆記試験と面接（内容については公平性のため、事前にお伝えしません。）

- ◆ 1次選考合格者のみ、2次選考の案内をEメールでご連絡します。遠隔地にお住まいの方はSkypeによる面接も可能です。

応募書類（計4種）

- ◆ 履歴書2通（日・英）：日英履歴書フォーム両方に顔写真を添付。
- ◆ 自己紹介文2通（日・英、A4サイズで1枚ずつ）：志望理由・動機・興味分野（今までの研究内容など）を明記。

下記メールアドレスに添付して送信してください：

メールアドレス：intern.unictokyo@unic.org



インターン(後列五名)、アミーナ・モハメッド 副事務総長(後列左から四人目)、根本UNIC所長(後列左から三人目)、およびUNICの職員(後列右、前列)